

株式会社 BUYMA TRAVEL

第7期

(2025年1月1日から2025年12月31日)

貸借対照表

貸借対照表

(2025年12月31日現在)

(単位：千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
流動資産	793,371	流動負債	1,108,747
現金及び預金	568,715	買掛金	28
売掛金	6,781	短期借入金	1,005,000
前渡金	4,248	未払費用	30,847
立替金	37,251	未払法人税等	950
前払費用	1,721	預り金	71,920
未収収益	1,682	固定負債	510,000
短期貸付金	97,048	長期借入金	510,000
未収入金	50,086	負債合計	1,618,747
仮払金	14,950	(純資産の部)	
預け金	168	株主資本	△208,316
未収還付消費税	10,718	資本金	100,000
固定資産	617,058	資本剰余金	972,407
有形固定資産	5,996	資本準備金	587,413
建物附属設備	2,602	その他資本剰余金	384,994
工具器具備品	3,394	利益剰余金	△1,280,724
無形固定資産	214	その他利益剰余金	△1,280,724
ソフトウェア	214	繰越利益剰余金	△1,280,724
投資その他の資産	610,847	純資産合計	△208,316
差入保証金	1,705		
子会社株式	581,131		
保険積立金	28,011		
資産合計	1,410,430	負債・純資産合計	1,410,430

個別注記表

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

1. 有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的の債券	原価法
子会社株式	移動平均法による原価法
その他有価証券	
市場価格のあるもの	期末日の市場価格等に基づく時価法 (評価差額は全部純資産直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定)
市場価格のないもの	移動平均法による原価法

2. たな卸資産の評価基準及び評価方法

商品及び製品	主として先入先出法による原価法(貸借対照表価額は収益性の低下に基づく簿価切下げの方法により算定)を採用しております。
仕掛品	主として先入先出法による原価法(貸借対照表価額は収益性の低下に基づく簿価切下げの方法により算定)を採用しております。

3. 固定資産の減価償却の方法

- (1) 有形固定資産 定率法
(リース資産を除く) ただし、建物、建物附属設備及び構築物については、定額法を採用しております。
- (2) 無形固定資産
(リース資産を除く)
- | | |
|----------------|-----------------------------|
| ソフトウェア(自社利用) | 社内における利用可能期間(主として5年)に基づく定額法 |
| ソフトウェア(市場販売目的) | 社内における見込有効期間(3年)に基づく定額法 |
| その他 | 定額法 |
- (3) リース資産
所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産
リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用しております。

4. 引当金の計上基準

- (1) 貸倒引当金 … 売上債権、貸付金等の貸倒損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を勘案し、回収不能見込額を計上しております。

5. 重要な後発事象に関する注記

該当事項なし

6. その他計算書類の作成のための基本となる重要な事項

消費税等の会計処理
税抜方式を採用しております。

(株主資本等変動計算書に関する注記)

当事業年度末における発行済株式の種類及び総数

普通株式 78,781 株

(1 株当たり情報に関する注記)

1 株当たり純資産額 △2,644 円 25 銭

1 株当たり当期純利益 △3,042 円 33 銭

(注) 以上の記載金額は、表示単位未満を切り捨てております。